

エゴマ大規模経営体における年間収益の試算

福島県農業総合センター 企画経営部 経営・農作業科

1 部門名

農業経営－農業経営－その他

2 担当者名

小泉拓真、松崎俊

3 要旨

県内におけるエゴマ栽培、加工事業等に取り組む経営体の実態は十分に調査されておらず、経営の参考となる経営指標も作成されていない。そこで、大規模経営体(エゴマの作付面積 5ha 以上)を調査した結果を基に、子実の生産及び加工・販売の経済性を試算した。

(1) 作付面積 5ha、単位収量 30kg/10a として収穫した子実 1,500kg を全量エゴマ油へ加工、販売した場合、年間収益は 330 万円となり(表 1)、必要な機械装備は表 2 のとおりである。

(2) 栽培に要する年間労働時間は 1,700 時間である(データ省略)。

表 1 エゴマ大規模経営体における年間収益の試算

子実の収穫量		1,500	kg
費用	生産費	肥料費	190 千円
		光熱動力費	340 千円
		諸材料費	800 千円
		小農具備品費	100 千円
		固定費	1,085 千円
	加工費	材料費	950 千円
	固定費	737 千円	
	費用計	4,202 千円	
エゴマ油売上	90ml 瓶(1,200円)×5,000本	7,500 千円	
年間収益		3,298 千円	

※作付面積5ha、単位収量30kg/10a、収穫した子実全量をエゴマ油に加工した場合(搾油歩留率30%)。

表 2 機械装備一覧

生産用	トラクタ(33kW)
	野菜定植機(1条)
	乗用管理機(13kW)
	歩行型管理機(4kW)
	普通コンバイン(1.6m)
	平型乾燥機(1坪)
加工用	搾油機(2kW)
	選別機(9kg/h)
	食品洗浄機(240kg/h)
	食品乾燥機(20トレイ)

※作付面積5ha、単位収量30kg/10a、収穫した子実全量をエゴマ油に加工した場合(搾油歩留率30%)。トラクタ、乗用管理機以外はエゴマ専用とした。

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和 4～7 年度

(2) 研究課題名 地域特産活用産地づくり支援事業

5 主な参考文献・資料

なし